

さよならをするために

本調子

六七六五五

五六五工尺尺

老四上尺中

五尺

工

六五

すぎたひのほほえ

みを

みんなきみにあ

げる

乙合乙老乙四中中

尺上

上中尺老工

上尺

中中

ゆうべ かれてたは

なが

いまは

さいているよ

四上中乙尺尺四中

上上

老上老

老四老上老

すぎたひのかなし

みも

みんなきみにあ

げる

乙合乙老乙四中中

尺上

上中尺老工

上尺

中中

あのひしらないひ

とが

いまは

そばにねむる

四上中乙尺尺四中

上上

老上老

老四上四乙

中あ

たたかな

ひるさがり

とおりすぎる

あめに

中ぬ

尺工五五

工尺中尺尺

尺工五六六

五工尺工

中ぬ

れることを

ゆめにみるよ

かぜに

ふかれて

中む

六七六五五

中六七六五五

五六七八

八七八六

六

ねのこる

おもいでと

さよならを

するために

中

七工六五五

五六五工尺尺

老四上尺中

五尺

工

六五

中

六七六五五

中六七六五五

五六七八

八七八六

工

五

さよならをするために

本調子

2/2

一、過ぎた日の微笑みを みんな君にあ
げる ゆうべ枯れてた花が 今は咲いてい
るよ
過ぎた日の悲しみも みんな君にあ
げる
あの日知らない人が 今はそばに眠
る
温かな昼下がりに 通りすぎる雨に
濡れることを 夢に見るよ
風に吹かれて 胸に残る想い出と
さよならをするために

二、昇る朝陽のように 今は君と歩く
白い扉をしめて やさしい夜を招き
今のあなたにきつと 判るはずはな
いの
風に残した過去の さめた愛の言葉
温かな昼下がりに 通りすぎる雨に
濡れることを 夢に見るよ
風に吹かれて 胸に残る想い出と
さよならをするために